



部会の窓 第5回近世部会を開催しました



▲挨拶する兼平部会長



▲会議の様子

3月5日（土）第5回近世部会を開催しました。冒頭、兼平賢治部会長から「来年度は資料編の粗原稿を作る時期なので、共通認識をもって作成にのぞみたい」という挨拶があり、その後各委員から進捗状況や問題点などが報告されました。その中では、幕末の遠野南部家当主が藩政においてどのような役割を果たしたのかを公文書や^{ならやまさど}榎山佐渡*の書簡から探りたいといったことから、遠野として清心尼の資料は少ないものの特に取り上げたほうがよいこと、また清心尼の娘*に関する資料についても取り上げてほしいことなどが話されました。

また資料編の凡例^{はんれい}について協議し、他の例を参考にしながら今後詰めていくことを確認しました。

用語解説

*榎山佐渡（1831-1869）…

江戸時代後期の盛岡藩家老。奥羽越列藩同盟を脱退した秋田藩を攻めるも破れ、敗戦の責任を負って処刑された。遠野南部家32代当主南部濟賢の正室多代（多与）は姉にあたる。

*清心尼の娘…

遠野南部家21代当主清心尼には息子1人（夭折）娘2人がおり、うちひとり（子子、松澁院）は22代直義と結婚して23代義長を儲け、もうひとは藩主南部利直の子政直と結婚した。

江戸時代初期や末期の混乱期を遠野の人々がどのように乗り切ったのか、とても興味をひかれますね



Q 1 出身地

釜石生まれ、遠野育ち

Q 2 経歴

元NPO法人遠野物語研究所 副所長

Q 3 専門分野

近世の飢饉史、一揆史を担当しています

Q 4 市史に関して今もっとも興味を持っていること

享和^{きょうわ}の一揆

Q 5 特技

水泳

Q 6 意気込み

健康に気を付けて生活したいと思います



大橋 進 おおはしすすむ

遠野市史編さん委員会 委員長

遠野市史編さん近世部会 委員

編さん委員紹介

部会の窓 史跡の空撮を行いました

3月中旬、ドローンによる史跡の空撮を行いました。今回対象としたのは松崎町の宮代IV遺跡、高瀬I・II遺跡、土淵町の安倍館遺跡です。既刊号でもご紹介しましたが、宮代IV遺跡では経塚から青磁片（12世紀後期、龍泉窯産）が、安倍館遺跡からは平泉で多く出土する三筋壺（12世紀中期、常滑産）が出土し、当時遠野が奥州藤原氏の影響下にあったことを示す資料が発見されました。

また高瀬I・II遺跡は、圃場整備事業に伴って昭和63年から翌年にかけて発掘された奈良～平安時代の遺跡で、集落跡や墨書土器、蕨手刀が発見されています。大型の竪穴住居址や掘立柱式建物址、「地子稻得不」と書かれた墨書土器が出土していることから、律令制のもとで役所的な機能を持った集落であったと考えられています。

3つの遺跡とも、当時の有力者の存在を示す遺物が出土しており、古代から中世にかけての遠野地方の開発を考える上で重要な遺跡です。



▲宮代IV遺跡上空から土淵町方面を望む。宮代IV遺跡から猿ヶ石川を挟んで南西約1kmに高瀬I・II遺跡、そこから西に約2kmでカッパ淵そばの安倍館遺跡に達する。

◀上写真とは逆方向の安倍館上空から、松崎町方面を望む



市史編さん室では、遠野の歴史や皆さんの生活に関わる資料を調査しています。

古文書や写真、家計簿、日記等の調査にご協力いただける方は、ぜひ市史編さん室までご連絡ください。

編集・発行 遠野市民センター市史編さん室

〒028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号（遠野市立図書館・博物館内）

TEL:0198-62-2340 FAX:0198-62-5758